



みんなが笑顔でつながる・ぬくもりと輝きのまち調布



ちよっふ



令和5年(2023年) No.1730 1 / 20

CONTENTS(主な内容)

映画のまちの映画のお祭り	2・3
4月から子どもの医療費助成制度を拡充します	4
調布っ子応援プロジェクト(第5弾)	4
マイナポイント・マイナンバーカード交付申請サポート	8
新型コロナワクチン	16



発行：調布市（毎月5日・20日発行）所在地：〒182-8511 東京都調布市小島町 2-35-1
編集：行政経営部広報課 市ホームページ：https://www.city.chofu.tokyo.jp/ ☎042-481-7111

市報ちよっふの配布に関する問い合わせは
市報ちよっふ配布コールセンター
☎042-300-3131

映画を創る力 つなぐ 未来へ。

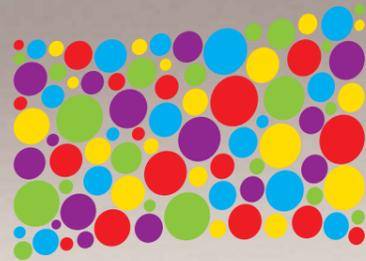


映画のまち調布

映画のまちの 映画のお祭り

1月27日(金)～2月19日(日)

at 文化会館たづくり、グリーンホール
イオンシネマ シアタス調布



映画のまち調布
シネマフェスティバル
2023



「第5回映画のまち調布賞」授賞式や、映画製作の技術スタッフや監督のトークショー付きの映画上映会、展示、ワークショップなど、さまざまなイベントを開催します。

問(公財)調布市文化・コミュニティ振興財団 ☎441-6150 (文化生涯学習課)

▲「映画のまち調布」応援キャラクター ガチャョ
©株式会社角川大映スタジオ

詳細は次の面をご覧ください →

手をつなぐ樹 414
悩ましきふるさと納税

昨年、ふるさと納税に関する私の発言が新聞に掲載され、複数の方からその意見について質問を受けたので、真意を説明させていただきます。

8月の定例記者会見の場で、その4か月前、「私は、郷里など自分に関わりつつ自治体の発展を願って寄付をするという本制度の趣旨をおよび送金者の純粋な思いは十分に理解している。そして、それが思惑通り正常に機能しているのなら、たとえ本来、市の歳入となるはずの原資が減少したとしても異を唱えるつもりはない。送金を受けた自治体の返礼におかしきところはない。しかし、おかしきところは、現状では多くの場合、自分とは無縁のまちが提供する単なる贈答品通販への応募にすぎないのが実態ではないか。しかも、自治体が事業実施のためにかかる経費は寄付額の5割近く、つまり、公費の1.5倍の予算に充たされるはずの税金の半分以上がふるさと納税事業のための商品調達費や事務費、そして事業PRのためには消えている(註1)。由々しき事態と言わざるを得ない。ただ残念ながら、年間10億円を超え、市としても「武士は食わねど高楊枝」とやせ我慢を続けていることが難しくなってきた。

すでに、調布市をよりよく知って頂くことを念頭にいくつもの返礼(註2)を用意しましたが、制度の抜本的見直しの必要性は今後も残ると考えています。

(註1) 朝日新聞が分析した総務省のデータによると、21年度のふるさと納税寄付総額は過去最高の8302億円。そのうち、各自治体が事業実施のために計上した経費総額は46.4%の3851億円。
(註2) 市内事業者から提供いただいた商品・サービスをはじめ、京王電鉄による限定イベントやFC東京グッズ、鬼太郎茶屋での飲食チケットなどを返礼として用意

